

平成 16 年 3 月 22 日

各 位

会社名 サイトサポート・インスティテュート株式会社  
代表者名 代表取締役社長 尾芝 一郎  
(コード番号 2386 東証マザーズ)  
問合せ先 代表取締役副社長 平野 良一  
(TEL. 03-5436-2850)

## **SMO 事業「基幹業務統合システム」開発終了、運用開始に関するお知らせ**

当社は、事業基盤の強化と経営の効率化を目指して、昨年 9 月より SMO(Site Management Organization。治験施設支援機関)事業「基幹業務統合システム」の開発を進めてまいりましたが、このほど開発を終了し、4 月より運用開始することになりましたので、お知らせいたします。

### 1. システム開発の目的

#### ① SMO 事業拡大を支える基盤の強化

当社の SMO 事業は受注高が前年度の 2 倍以上となるなど、事業が拡大しておりますが、こうした事業拡大を支える基盤としてのシステムを構築する。

#### ② 経営効率の向上

当社は、治験支援等の現場部門を中心に人員が急速に増加していますが、こうした治験支援等の実施部門と、経理部門・人事部門等の管理部門とをシステム上統合し、経営効率の向上を図る。

具体的に期待される効果は、以下のとおりです。

- ・ SMO 事業拡大の円滑化・業務処理能力の向上
- ・ 原価管理体制の充実に伴う原価低減
- ・ 組織効率向上に伴うコスト削減

### 2. システムの概要

以下のシステムにより構成されておりますが、詳細につきましては添付「基幹業務統合システム概念図」をご参照ください。

[構成システム]

#### ① SMO 業務管理システム

従来から使用しています SSI プロジェクトマネジメント・システム(SPMS)を一部改良し、新システムとの連携を図ります。

②SMO プロジェクト管理システム

③財務会計システム

④管理会計システム

⑤給与情報システム

⑥人事情報システム

②は株式会社オービックがプログラム開発し、③から⑥は、株式会社オービックの統合業務パッケージ **OBIC7** を採用しています。

### 3.投資額

開発に要した投資額は約50百万円です。

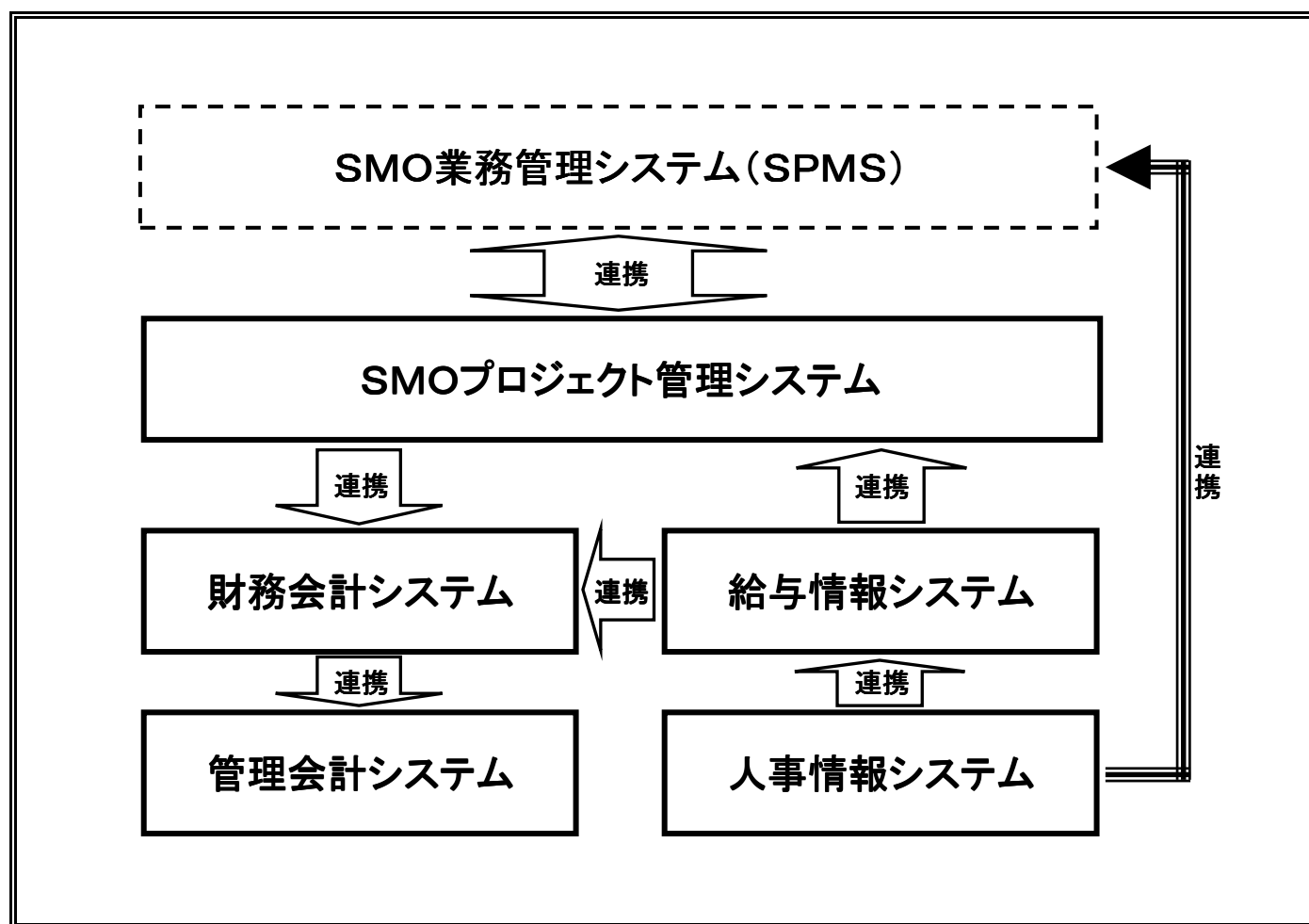
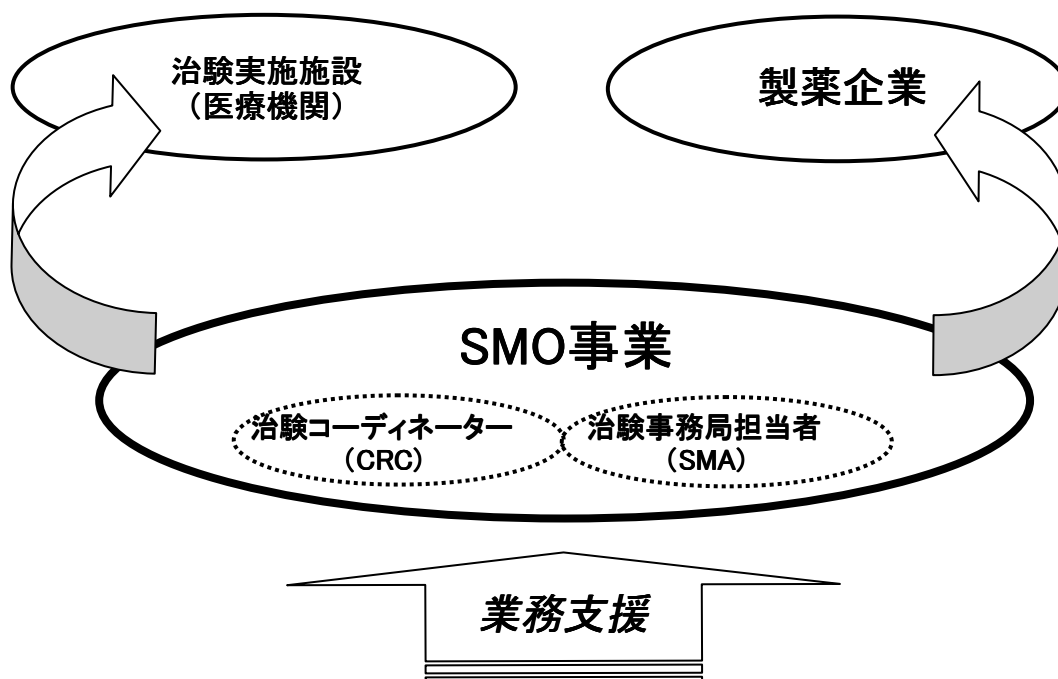
### 4.システムの運用開始時期

当社は3月決算ですが、次期会計年度である平成16年4月から運用を開始いたします。

### 5.今後の見通しについて

本システム運用開始による当社業績への影響は、現状では軽微であると考えておりますが、見通しに変更等が生じる場合には速やかに対応いたします。

以上



(凡例)  ……新規開発システムを示す  ……既存システムを示す